

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 17日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1

氏名 住友精化株式会社 別府工場
工場長 山本正人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 079-437-2166

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友精化株式会社 別府工場
事業場の所在地	兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1
計画期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 別紙1, 2のとおり	
(管理体制図)	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙1, 2のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
別紙1, 2のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		別紙1, 2のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組)				
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和元年度実績）】			
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		1409	t
	(今後実施する予定の取組)			
今後も電子マニフェストの取扱いが可能な業者へ産業廃棄物の処理を委託していく。				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和元年度)実績量

計画：今年度(令和2年度)計画量

単位:トン/年

特別管理産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
7000 引火性廃油	807	834	0	0	0	0	0	0	0	0	0	807	837	610	632	335	344	144	149	464	482
7010 引火性廃油(有害)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1
7100 強酸	872	870	0	0	0	0	0	0	0	0	0	872	870	868	866	595	594	239	238	17	17
7110 強酸(有害)																					
7200 強アルカリ	319	344	0	0	0	0	0	0	0	0	0	319	344	319	344	68	73	0	0	319	344
7210 強アルカリ(有害)																					
7300 感染性廃棄物																					
7411 廃PCB等																					
7412 PCB汚染物																					
7413 PCB処理物																					
7421 廃石棉等(飛散性)																					
7422 指定下水汚泥																					
7423 銻さい(有害)																					
7424 燃えがら(有害)																					
7425 廃油(有害)																					
7426 汚泥(有害)																					
7427 廃酸(有害)																					
7428 廃アルカリ(有害)																					
7429 ばいじん(有害)																					
合計	1998	2049	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1998	2052	1797	1842	999	1012	383	387	801	844

別紙2（廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	1639 その他の有機化学工業製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 1,005,722万円（2019年度実績）
③従業員数	370人（2020年2月29日時点）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3のとおり

2 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙3を参照）

3 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 特別管理産業廃棄物発生量の多い製品の製造工程改善または有価売却により、発生量を抑制した。
②計画	（今後実施する予定の取組） 今後も研究開発段階のプロセス改善、有価売却可能品の更なる探索などにより特別管理産業廃棄物の発生量を抑制していく。

4 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工場保管場所で特別管理産業廃棄物は表示を行ない区分けして、保管している。
②計画	（今後、分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価物への転換、埋め立て量の削減を行なっていく。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） とくになし。
②計画	（今後実施する予定の取組） とくになし。

6 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>特管廃油については、廃アルカリとともに自ら焼却処理を行ない、外部委託量の減量化を図った。</p>
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>自ら焼却処理するための計画量を可能な限り維持して、外部委託量の減量化を継続していく。</p>

7 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) とくになし。
②計画	(今後実施する予定の取組) とくになし。

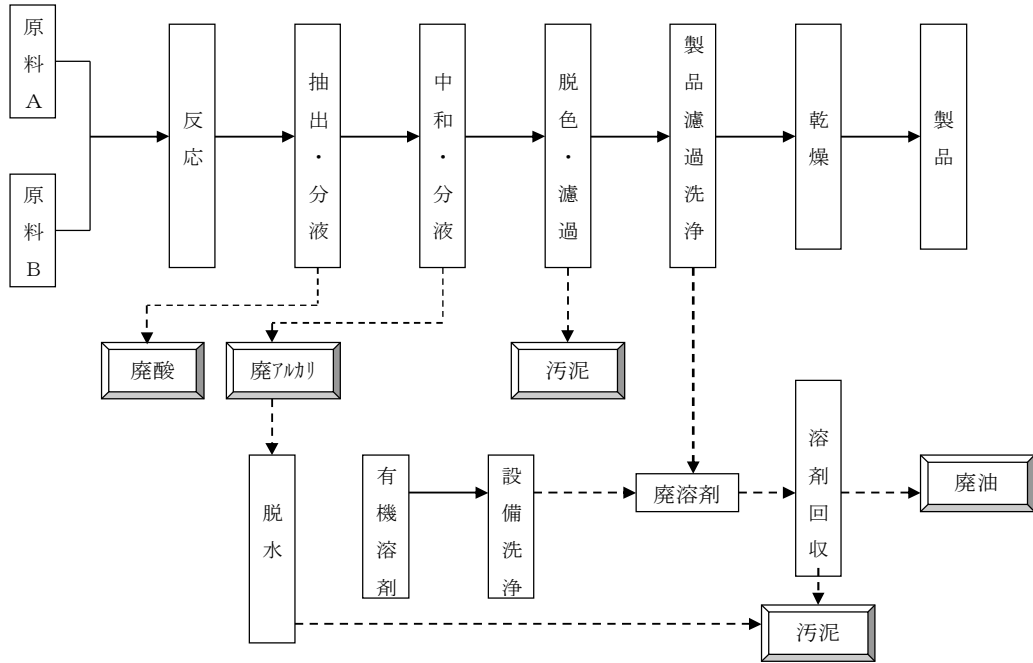
8 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 「再生利用・資源化・燃料化」、「サーマルリサイクル」、「適正処理」といったことを念頭に置いて、処理委託先を選定している。
②計画	(今後実施する予定の取組) 低引火点物質、腐食性物質などの処理困難物や年間を通じて定期的に発生する廃棄物については、処理先を探索して複数の処理業者と契約しておくことで適正処理を行なうための準備をしていく。

別紙3

【産業廃棄物の一連の処理工程】

当社製品の製造方法は多岐に亘っているが、概ね以下に記載の工程による。



【 産業廃棄物の処理に係る管理体制図 】

